

平成30年度

社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

事業報告書

平成30年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

事業報告

I. 法人の運営ならびに連絡調整

円滑な会務運営ならびに事業執行を図るため、次のとおり、理事会・監事会・評議員会を開催した。

1. 理事会・監事会・評議員会等の開催

※ 財 源 : 社協単独

(1) 監事会の開催

第 1 回 日 時 平成30年 5月29日 9時00分 ~ 16時20分

場 所 嬉野市社会福祉協議会 本所

出席者 監事 2名 出席

議 題 ① 平成29年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告書 (案) 及び 決算書 (案) について

以上の 監査 を受ける

(2) 理事会の開催

第 1 回 日 時 平成30年 6月6日 9時58分 ~ 11時20分

場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室

出席者 理事 9名中 6名出席 及び 監事 2名 出席

議 題 ① 平成29年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告書 (案) について

② 平成29年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 決算書 (案) について

③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員会の開催について

以上 3件 について

第 2 回 日 時 平成30年11月12日 14時00分 ~ 14時46分

場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室

出席者 理事 9名中 8名出席 及び 監事 1名 出席

議 題 ① 平成30年度 社会福祉法人嬉野市社会福祉協議会 資金収支補正予算 (案) について

② 嬉野市放課後児童健全育成事業業務委託に係るプロポーザルについて

以上 2件 について

第 3 回 日 時 平成30年12月19日 10時00分 ~ 11時9分

場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室

出席者 理事9名中 7名出席 及び 監事2名出席

議 題 ① 平成30年度 歳末見舞金配分 (案) について

② 第8回嬉野市社会福祉大会被表彰者 (案) について

③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 会長及び常務理事の業務執行状況報告について

以上 3件 について

第 4 回 日 時 平成 31 年 3 月 28 日 10 時 00 分 ～ 11 時 15 分
場 所 嬉野市中央公民館 第 2 研修室
出席者 理事 9 名中 7 名出席 監事 2 名出席
議 題 ① 平成 30 年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支補正予算
(案) について
② 平成 31 年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業計画 (案) に
ついて
③ 平成 31 年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支予算 (案)
について
④ 平成 30 年度 社会福祉法人 指導監査指摘事項是正改善報告書につい
て
以上 4 件 について

(3) 評 議 員 会 の 開 催

第 1 回 日 時 平成 30 年 6 月 22 日 10 時 00 分 ～ 11 時 26 分
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室
出席者 評議員 13 名中 10 名出席 監事 1 名 出席 会長出席
議 題 ① 平成 29 年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告について
② 平成 29 年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 決算書 (案) に
ついて
③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 理事の選任について
以上 3 件について

(4) 社 会 福 祉 法 人 指 導 監 査

日 時 平成 31 年 1 月 10 日 10 時 00 分 ～ 15 時 00 分
場 所 塩田老人福祉センター 大娯楽室
出席者 監査員 公認会計士 1 名
市役所 福祉課 3 名 ・ 子育て支援課 2 名
立会人 監事 2 名

2. 役 職 員 の 研 修 状 況

役職員の資質向上を図るために、研修の実施及び各種研修へ参加

(1) 役員研修

① 理事・監事・評議員セミナー

(2) 職員研修

- ① 都市社協事務局長及び職員研修
- ② 県職連会議及び研修会
- ③ 社会保険説明会
- ④ 職員パワーアップゼミ
- ⑤ 平成 30 年度九州ブロック地域福祉研究会議
- ⑥ 平成 30 年度市町社協地域福祉実践研修会
- ⑦ 市町社協福祉教育実践セミナー
- ⑧ エリア別地域福祉担当者連絡会議
- ⑨ ボランティアステップアップ研修会
- ⑩ 災害ボランティアセンター運営研修会
- ⑪ 福祉サービス利用援助事業専門員等連絡会議
- ⑫ 福祉サービス苦情解決研修会
- ⑬ 福祉サービス利用援助事業専門員・生活支援員研修会

- ⑭ 日常生活自立支援事業専門員エリア別研修会
- ⑮ 生活福祉資金担当者会議
- ⑯ 生活困窮者自立支援従事者等養成・伝達研修
- ⑰ 子ども・若者育成支援者指導員研修会
- ⑱ 県ひきこもりセミナー
- ⑲ 県生活支援コーディネーター養成基礎研修
- ⑳ 県生活支援コーディネーターフォローアップ研修
- ㉑ 九州沖縄地区生活支援コーディネーター活動研究大会
- ㉒ 支えあい地域づくり研修会
- ㉓ 平成30年度 佐賀県主任介護支援専門員研修
- ㉔ 介護保険事業者説明会

3. 社協会費の状況

地域福祉向上のために、地域住民の参加を願い大切な財源を市民にお願いした。

一般会費	400円		
重点募集期間	平成30年 6月～8月		
社協会費総額	2,800,800円		
	内訳	一般会費	2,693,800円
		賛助会費	50,000円 (1,000円×50口)
		団体会費	57,000円 (3,000円×19口)

4. 広報活動

※財源：社協単独

(1) 社協だよりの発行

全世帯に配布 1回あたり 8,500部 配布
 平成30年 5月、8月、10月、平成31年 2月 計 4回 発行

(2) ホームページ開設

最新の事業や福祉サービス等の情報発信

5. 災害見舞金交付事業

※財源：社協単独・日赤配分・共同募金配分金

市内で火災等により被害（全焼）を受けた世帯に対し、見舞金等を交付
 平成30年度 1件

6. 福祉バス運行事業

※財源：市補助金、社協単独・燃料は、利用者負担

福祉団体・社会教育団体等が、大会、研修会あるいは奉仕活動等に参加するときに運行

- 運行総回数 174回
- 運行総距離 11,060 km
- 利用者延数 2,768名

II. 地域福祉活動事業

1. ふれあいのまちづくり事業

※財源：市補助金、社協単独

(1) 地区福祉活動の支援

地域住民の参加により地域に即した事業を展開し、事業を通して住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう地域社会づくりができた。

- 実施地区数 76地区 内訳 ① 環境美化活動 14地区
- ② 世代間交流・環境美化活動 14地区
- ③ 伝承芸能の伝承 13地区

④ 世代間交流	34 地区
⑤ その他	1 地区

(2) 総合相談事業

次の相談を展開した。

① 法律相談：(予約制)

開催日 毎月 第 4 木曜日
(塩田地区：偶数月、嬉野地区：奇数月)
場 所 塩田地区：塩田老人福祉センター、嬉野地区：嬉野老人福祉センター
相談員 佐賀県弁護士会会員
相談件数 64 件

② こころの相談 (予約制)

開催日 毎月 第 4 月曜日
場 所 塩田保健センター、塩田中学校相談室
相談員 嬉野温泉病院 精神科医師
相談件数 29 件

③ 介護相談

開催日 毎月 1 回
場 所 塩田老人福祉センター、嬉野老人福祉センター
相談員 在宅介護支援センター ソーシャルワーカー
相談件数 4 件

④ 遺言相続相談

開催日 年 4 回 (塩田地区 2 回、嬉野地区 2 回)
場 所 塩田地区：塩田老人福祉センター、嬉野地区：嬉野老人福祉センター
相談員 行政書士
相談件数 13 件

⑤ 一般相談 (電話相談含む)

開催日 随 時
場 所 嬉野市社会福祉協議会 (本所・支所)
相談員 社協職員

(3) ふれあいサロン事業

地域あるいは近隣を拠点に小地域の住民が地域福祉の充実を図るため、ふれあいの場を設け、高齢者が楽しい時間を過ごし仲間づくり、生きがいがつくりができた。

○ 年間 1 か所あたり 12,000 円の助成 76 か所で実施

2. ボランティアセンター事業

※ 財 源 : 市補助金、社協単独

(1) 情報紙の発行

各種ボランティアの活動状況、ボランティアの募集等について、随時情報の提供
市内全戸、学校、施設、郵便局、銀行等へ配布 1 回あたり 8,500 部 配布
平成30年 5月、8月、10月、平成31年2月 計 4 回 発行

(2) 相談・登録・斡旋

・相談 12 件 ・登録 4 件 ・斡旋 8 件

(3) ボランティア講座の開催

・認知症サポーター養成講座 (公会堂)
11月20日 市民対象 17名参加

- ・大人のための福祉体験教室（嬉野老人福祉センター）
1月22日 市民対象 3名参加

(4) ボランティアスクールの開催

- ・施設訪問ボランティア（第一たちばな学園）
平成30年7月23日 塩田町内小中学生 32名参加
- ・福祉体験教室（中央公民館、公会堂）
災害の備え（講座と災害食づくり体験）
【塩田】 平成30年 8月 2日 塩田町内小5～6・中学生 30名参加
【嬉野】 平成30年12月25日 嬉野町内小5～6・中学生 54名参加

(5) ボランティア協力校育成

- ・塩田町内学校ボランティア担当者会 平成30年7月3日
- ・嬉野町内学校ボランティア担当者会 平成30年7月5日
- ・市内の各小学校・中学校・高等学校に対し、ボランティア情報の提供

(6) ボランティアグループへの支援とボランティア活動の推進

- ・ボランティアグループの自主活動支援
- ・学校ボランティアの育成・援助

(7) ボランティア保険料の助成

ボランティア活動保険加入者（市内在住）に対し150円を助成

助成額 24,900円

内訳	Aプラン	129名
	Bプラン	13名
	天災A	4名
	天災B	20名

(8) ボランティア関係機関との連絡・調整

(9) 募金活動の推進 各種募金活動への支援・協力

(10) その他

① 子どもクラブボランティア育成事業

嬉野市内 21地区 388名

② 福祉学習（高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験）

平成30年 9月 6日 久間小学校 5年生 27名

平成31年 2月12日 嬉野小学校 3年生 55名

平成31年 2月19日 吉田小学校 3年生 13名

③ 24時間テレビチャリティー募金への協力

- ・第一第二たちばな学園
- ・NPO法人こだま
- ・済昭園
- ・NPO法人ほたる
- ・吉田中学校
- ・NPO法人ほのか
- ・太田医院デイサービスさいかい
- ・嬉野市社会福祉協議会

④ 大掃除ボランティア

平成30年12月26日 済昭園 塩田工業高校・塩田中学校 54名参加

⑤ 常時 ボランティア活動状況パネル展

Ⅲ. 施設運営受託事業(指定管理者制度)

1. 嬉野市嬉野老人福祉センター管理経営 ※財源：市受託金、利用料、社協単独
嬉野市内に居住する60歳以上の高齢者を対象に、健康の増進、教養の向上およびレクリエーションのための便宜など総合的に事業を行った。
- 開館日日数 261日
 - 延利用者数 19,248名

Ⅳ. 受託事業

1. 放課後児童健全育成事業 ※財源：市委託金・利用料・社協単独
放課後児童クラブは、児童福祉法第6条の2第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に通う児童に対し、放課後及び長期休業期間、土曜日等学校休業日に家庭的な役割をもった生活の場を提供し、適切な遊びや指導を行った。
- 保護者の仕事と子育ての両立支援
 - 児童の健全育成対策
- 開設日 平成30年4月1日～平成31年3月31日
設置場所 市内12か所 ※夏休み2か所増設(リバティ・産業文化センター)
内 訳 ・五町田小学校(2か所) ・嬉野小学校(3か所)
・久間小学校 ・轟小学校
・塩田小学校 ・吉田小学校(2か所)
・大草野小学校 ・大野原小学校
- 利用者延べ数 81,117人
指導員数 33名(平成31年3月末現在)
2. 生活困窮者自立支援事業 ※財源：市受託金、社協単独
生活保護に陥る前の生活困窮者に対して、本人の自立を促し本人の状況に応じた包括的継続的な支援を実施し、就労その他の支援体制を整備して関係機関との連携を図り、社会資源の開発等を実施
- 契約件数 17件
 - 延べ相談件数 626件
3. 高齢者生きがいデイサービス事業 ※財源：市受託金、利用料
市内に居住する概ね65歳以上の一人暮らし高齢者、家に閉じこもりがちな高齢者等を対象に、介護保険の要介護認定で『自立』と認定された方に、給食・日常動作訓練あるいは健康指導等の各種サービスを提供し、心身の機能低下、認知症あるいは寝たきり等の予防に努めた。
- 開催日数 241日
 - 延利用者数 3,209名
4. ふれあい介護予防講習会 ※財源：市受託金
地域ふれあいサロンリーダー・一般高齢者を対象に実施
市内3か所(塩田地区・嬉野地区・吉田地区で各地区：3回開催)
- 参加者は、延べ557名
5. 家族介護者交流事業 ※財源：市受託金
介護者への情報提供、介護保険サービスの紹介、介護者の交流等を実施
- 開催日 ①平成30年10月 3日 参加者 15名
②平成31年 2月 6日 参加者 8名

6. 嬉野市生活支援体制整備事業 ※ 財 源 : 市受託金、社協単独
 日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる「生活支援・介護予防サービス」の提供体制を構築するため、地域のニーズ及びサービスの聞き取り調査を実施。また、サービス・支援の担い手となるボランティア等を養成し、各関係機関と連携して支援体制の強化・充実を図った。

7. 生活福祉資金貸付事業 ※ 財 源 : 県社協受託金、社協単独
 佐賀県社会福祉協議会の貸付事業で低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などに必要な資金の貸付と相談援助を行い、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送られるよう支援するもので、民生委員と協力し、借入の紹介や償還に関する事務の実施
 ○ 本年度貸付件数 なし

8. 福祉サービス利用援助事業（日常生活支援事業） ※ 財 源 : 県社協受託金、利用料、社協単独
 認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等判断能力が不十分な者や、日常生活を営むのに支障がある者に対し、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言及び手続の援助、利用料の支払等、福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に行った。
 10名に対し、月1回あるいは、週1回程度の生活費、医療費等の支払について、生活支援員による援助を実施
 ○ 生活支援員 6名 (嬉野町 5名、塩田町 1名)

V. 共同募金配分金事業

※ 財 源 : 赤い羽根共同募金配分金

1. 一般配分金事業

平成29年度に実施した『赤い羽根募金』の配分金で、次の事業を実施

(1) 各種団体育成事業

市内の各種福祉団体への助成、なお、会員数を考慮し助成する。

助成額	1団体	会員数		
		50名以下		30,000円
		51名～100名		50,000円
		101名～300名		70,000円
		301名以上		100,000円

○ 助成した団体名	嬉野市老人クラブ連合会	2,826名	100,000円
	嬉野市母子寡婦福祉会	52名	50,000円
	嬉野市身体障害者福祉協会	171名	70,000円
	嬉野市手をつなぐ育成会	103名	70,000円
	嬉野市遺族連合会	575名	100,000円
	嬉野市保護司会	16名	30,000円
	嬉野市民生委員児童委員協議会	71名	50,000円

(2) 出前講座

地区の老人会やサロン等から依頼を受け、各種講座のコーディネートを行うことにより市民の福祉に関する理解を深め意識を高めた。

○ 市内 39か所

(3) ボランティア協力校への助成

市内の小学校・中学校・高校・特別支援学校に対し、助成

助成額	① 小学校	1校あたり	50,000円	市内	7校
	② 中・高・特別支援学校	1校あたり	70,000円	市内	7校

(4) 知的障害児・者と保護者の交流事業

市内の知的障害児・者と保護者が一同に会し、交流を深め、楽しい一日を過ごした。

日 時	平成30年 8月 5日
場 所	ホテル桜 (嬉野町内)
参加者数	84名

(5) 第8回嬉野市社会福祉大会

日 時	平成31年2月24日
場 所	リバティ
参加者数	約300名

2. 歳末たすけあい配分金事業

平成30年度に実施した『歳末たすけあい募金』の配分金で、次の事業を実施

(1) 歳末見舞金交付事業

市内の生活困窮世帯(調査は、地区民生委員・福祉協力員)に対し、「みんなで明るいお正月」を迎えてもらうために、見舞金を交付

22世帯 710,000円

(2) ひとり親世帯小学生卒業祝金交付事業

ひとり親世帯の児童が『小学校』を卒業する際に、卒業祝いとして「図書カード」を交付

33名に対し、一人あたり 3,000円の図書カードを交付

(3) ひとり親世帯中学生卒業祝金交付事業

ひとり親世帯の生徒が『中学校』を卒業する際に、卒業祝いとして「図書カード」を交付

41名に対し、一人あたり 5,000円相当額の図書カードを交付

(4) 児童遊園地の点検事業

市内の児童遊園地を各地区で点検し、不良箇所等の確認・報告

17地区(塩田 14地区、嬉野 3地区)で実施

(5) 障害者グループホーム支援事業

市内のグループホーム(6か所)

(6) 生活困窮世帯食料支援

VI. 介護保険事業

介護保険を利用したい方から相談あるいは介護保険の『認定』(要介護 1 ~ 5)を受けた方へのサービス等について、次の事業を展開した。

1. 介護保険認定調査

介護保険を利用したい方が、申請をされたあとの訪問調査を実施

(この結果をもとに認定審査が行われる) 訪問調査件数 45件

2. 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネージャー）が、認定を受けた方の心身の状況を把握し介護サービスの計画書作成あるいはサービス事業所等との連絡調整を行った。

延件数 838 件

VII. 福祉資金貸付事業

※ 財 源 : 市受託金

1. 市福祉資金貸付事業

一般の融資機関その他から資金の融資を受けることが困難である低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などに、民生委員と協力し、必要な資金の貸付と相談援助を行い、世帯の経済的自立と生活意欲助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援

本年度 貸付件数 4 件

貸付金額 180,000 円

VIII. その他の事業

1. 福祉機器貸出

市民に対し、『車イス』・『歩行器』・『松葉杖』等を一時的に貸し出しを行う。

○ 車イス 36件 ○ 歩行器 2件

2. 備品貸出

市民に対し、地域でのイベントや研修会等に備品を貸し出す。

○ 綿菓子機 9件 ○ ポップコーン機 4件 ○ 疑似体験道具 4件

○ レクリエーション用具 22件 ○ その他備品 18件

IX. 共同募金運動事業と赤十字事業への協力

1. 共同募金運動事業

(1) 赤い羽根募金

たすけあい運動の啓発と自己財源の確保を図るため、共同募金運動を展開し、次のとおり実績を得た。

世帯あたり目安額 400円

運動期間 平成30年10月1日～12月31日

募金実績額 4,030,137円

・募金実績の内訳

○ 戸別募金 2,634,400円 (6,586世帯)

○ 法人募金 561,000円 (85件)

○ 資材募金 689,100円 (66件)

○ 学校募金 29,082円 (6件)

○ イベント募金 92,364円 (6件)

○ 職域募金 13,622円 (1件)

○ 個人募金 7,858円 (2件)

○ その他 2,711円 (2件)

(2) 歳末たすけあい募金

市内の要援護対象者に「明るいお正月」を迎えてもらうために、募金運動を展開し、対象者に交付。実績は次のとおり

世帯あたり目安額 200円

運動期間 平成30年12月1日～12月31日

募金実績額 1,434,884円

・募金実績の内訳

○ 戸別募金	1, 316, 800 円	(6, 584 世帯)
○ 職域募金	87, 236 円	(28件)
○ 学校募金	10, 671 円	(2件)
○ 個人募金	10, 000 円	(1件)
○ その他	10, 177 円	(2件)

2. 赤十字事業

(1) 日赤会員募集

災害救助をはじめ、血液事業および医療事業など各種事業の拡充強化を図り、赤十字組織を活用して県民・市民各位の役に立つ事業を実施するための財源を確保するため、会員募集を展開した。実績は次のとおり

世帯あたり会費額	500円
募集強化月間	平成30年 5月 1日 ~ 5月31日
募集目標額	4, 305, 000 円
募集実績額	3, 296, 000 円

・実績内訳

○ 普通会費	3, 276, 000 円	(6, 552 世帯)
○ 特別会費	20, 000 円	(1名)

(2) 各種講習会への参加

① 赤十字デー講習会 平成30年7月14日 鹿島市林業体育館

② 九州八県赤十字大会 熊本県

③ 防災講習会(支援・協力)

・久間コミュニティ主催

開催日 平成30年11月25日

場 所 永正寺

開催日 平成31年3月10日

場 所 西山公民館

・吉田コミュニティ主催

開催日 平成31年1月27日

場 所 永寿寺

開催日 平成31年3月10日

場 所 春日公民館

④ 全国赤十字大会 平成30年5月16日